



# ONTAPのアップグレードと復元

## ASA r2

NetApp  
February 11, 2026

# 目次

ONTAPのアップグレードと復元 .....	1
ASA R2ストレージシステムでのONTAPのアップグレード .....	1
ASA r2 ストレージシステム上のONTAPを元に戻す .....	1
ASA r2 システムの要件を元に戻す .....	1
ASA R2ストレージシステムのファームウェアの更新 .....	2
自動更新を有効にする .....	2
自動更新を無効にする .....	2
自動更新の表示 .....	3
自動更新の編集 .....	3
ファームウェアの手動更新 .....	3

# ONTAPのアップグレードと復元

## ASA R2ストレージシステムでのONTAPのアップグレード

ASA R2システムでONTAPソフトウェアをアップグレードすると、ONTAPの新機能や強化された機能を活用して、コストの削減、重要なワークロードの高速化、セキュリティの強化、組織で利用できるデータ保護の範囲の拡大を実現できます。

ASA R2システムのONTAPソフトウェアのアップグレードは、他のONTAPシステムのアップグレードと同じプロセスに従います。Active IQデジタルアドバイザー(デジタルアドバイザーとも呼ばれます)の有効なSupportEdge契約がある場合は、次の["Upgrade Advisorを使用してアップグレードを準備する"](#)手順を実行してください。Upgrade Advisorは、クラスタを評価し、構成に固有のアップグレードプランを作成することで、不確実性とリスクを最小限に抑えるためのインテリジェンスを提供します。Active IQデジタルアドバイザーの有効なSupportEdge契約をお持ちでない場合は、次の["Upgrade Advisorを使用せずにアップグレードを準備"](#)手順を実行してください。

アップグレードの準備が完了したら、を使用してアップグレードを実行することを推奨し["System Managerからの自動無停止アップグレード \(ANDU\)"](#)ます。ANDUは、ONTAPの高可用性 (HA) フェイルオーバーテクノロジーを活用して、アップグレード中もクラスタが中断することなくデータを提供し続けます。

詳細については、をご覧ください ["ONTAPソフトウェアのアップグレード"](#)。

## ASA r2 ストレージシステム上のONTAPを元に戻す

ASA r2 システムのONTAPソフトウェアの復元は、他のONTAPシステムの復元と同じプロセスに従います。

ONTAPクラスタのリバートはシステム停止を伴います。リバート中はクラスタをオフラインにする必要があります。本番環境のクラスタをリバートする場合は、テクニカルサポートの支援を受けてください。新規クラスタまたはテストクラスタは、支援を受けずにリバートできます。新規システムまたはテストシステムのリバートが失敗した場合、または正常に完了しても本番環境のクラスタのパフォーマンスに満足できない場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。

["ONTAPクラスタのリバート"](#)。

### ASA r2 システムの要件を元に戻す

特定のASA r2 クラスタ構成では、ONTAPソフトウェアの復元を開始する前に特定のアクションを実行する必要があります。

#### ONTAP 9.17.1からの復元

ASA r2 システムでONTAP 9.17.1 から復元する場合は、復元を開始する前に次の操作を実行する必要があります。



["ダイナミックな空間バランス"](#)ONTAP 9.17.1 にアップグレードするか、新しいONTAP 9.17.1 ASA r2 クラスタを初期化してから 14 日後に、デフォルトで有効になります。動的スペースランシングを有効にした後、ASA r2 システムでONTAP 9.17.1 から戻すことはできません。

構成	元に戻す前に、次の操作を行ってください...
SnapMirrorアクティブ同期関係における階層的整合性グループ	"SnapMirrorのアクティブ同期関係を削除します"。
アクティブなインポート関係	アクティブなインポート関係を削除します。"輸入関係について学ぶ"。
ランサムウェア対策が有効	"ランサムウェア対策を一時停止する"。

## ASA R2ストレージシステムのファームウェアの更新

ONTAPは、デフォルトで、ASA R2システム上のファームウェアとシステムファイルを自動的にダウンロードして更新します。推奨される更新がダウンロードされてインストールされる前に、ONTAP System Managerを使用して自動更新を無効にしたり、更新パラメータを編集したりして、操作が実行される前に利用可能な更新に関する通知を表示したりできます。

### 自動更新を有効にする

ストレージファームウェア、SP / BMCファームウェア、およびシステムファイルの推奨アップデートは、デフォルトで自動的にダウンロードされ、ASA R2システムにインストールされます。自動更新が無効になっている場合は、自動更新を有効にしてデフォルトの動作に戻すことができます。

#### 手順

1. System Managerで、\* Cluster > Settings \*の順に選択します。
2. \*ソフトウェア更新\*の下で\*有効\*を選択します。
3. EULAをお読みください。
4. 推奨される更新の通知を表示する（デフォルト）をそのまま使用します。必要に応じて、推奨される更新を「自動的に更新する」または「自動的に閉じる」を選択します。
5. 更新の変更が現在および将来のすべての更新に適用されることを承認する場合に選択します。
6. [ 保存 ( Save ) ] を選択します。

#### 結果

推奨されるアップデートは、選択したアップデートに基づいて、ASA R2システムに自動的にダウンロードされ、インストールされます。

### 自動更新を無効にする

更新を完全に自分で管理する場合にのみ、自動更新を無効にしてください。自動更新をオフにすると、システムは更新の通知、ダウンロード、またはインストールを行いません。すべての更新プログラムを手動で監視、ダウンロード、スケジュール、およびインストールするのはお客様の責任となります。

#### 手順

1. System Managerで、\* Cluster > Settings \*の順に選択します。
2. \*ソフトウェア更新\*の下で\*無効\*を選択します。

## 結果

自動更新は無効になっています。推奨される更新プログラムを定期的を確認し、手動インストールを実行するかどうかを決定する必要があります。

## 自動更新の表示

クラスタにダウンロードされ、自動インストールがスケジュールされているファームウェアおよびシステムファイルの更新のリストを表示します。また、以前に自動的にインストールされたアップデートも表示します。

## 手順

1. System Managerで、\* Cluster > Settings \*の順に選択します。
2. \*ソフトウェアアップデート\*の横にある → をクリックし、[すべての自動更新を表示] を選択します。

## 自動更新の編集

ストレージファームウェア、SP / BMCファームウェア、およびシステムファイルの推奨される更新をクラスタに自動的にダウンロードしてインストールするか、推奨される更新を自動的に却下するかを選択できます。更新プログラムのインストールまたは却下を手動で制御する場合は、推奨される更新プログラムが利用可能になったときに通知を受け取るを選択します。その後、手動でインストールまたは却下を選択できます。

## 手順

1. System Managerで、\* Cluster > Settings \*の順に選択します。
2. ソフトウェアアップデート\*の横にある → を選択し、[\*その他すべての更新プログラム] を選択します。
3. 自動更新の選択を更新します。
4. [保存 ( Save ) ] を選択します。

## 結果

選択内容に基づいて自動更新が変更されます。

## ファームウェアの手動更新

推奨される更新プログラムをダウンロードしてインストールする前に表示できる柔軟性が必要な場合は、自動更新を無効にしてファームウェアを手動で更新できます。

## 手順

1. ファームウェアアップデートファイルをサーバーまたはローカルクライアントにダウンロードします。
2. System Manager で、クラスター > 概要 を選択し、その他のすべての更新 を選択します。
3. \*手動更新\*の下で、\*ファームウェア ファイルの追加\*を選択し、\*サーバーからダウンロード\*または\*ローカル クライアントからアップロード\*を選択します。
4. ファームウェア更新ファイルをインストールします。

## 結果

ファームウェアが更新されました。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。